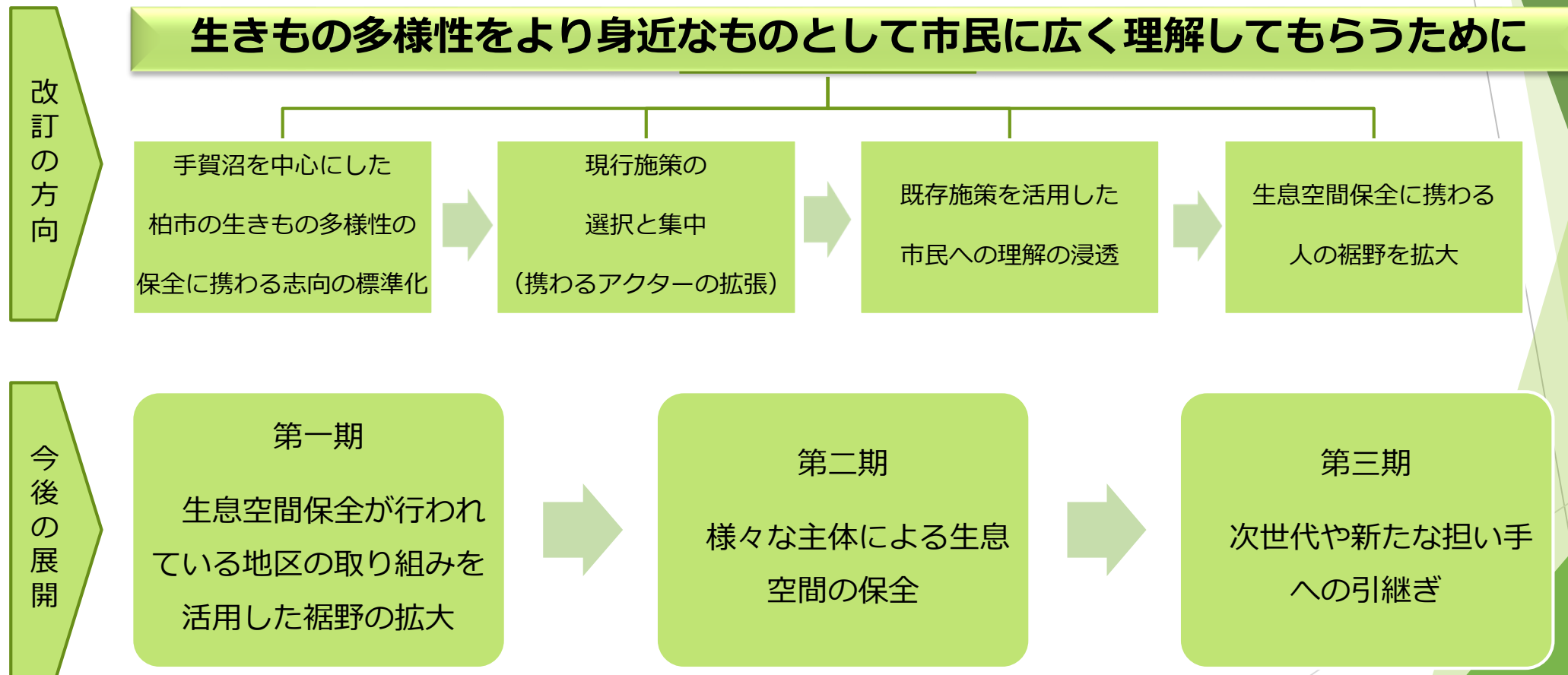


令和元年度 第3回 柏市環境審議会 生物部会

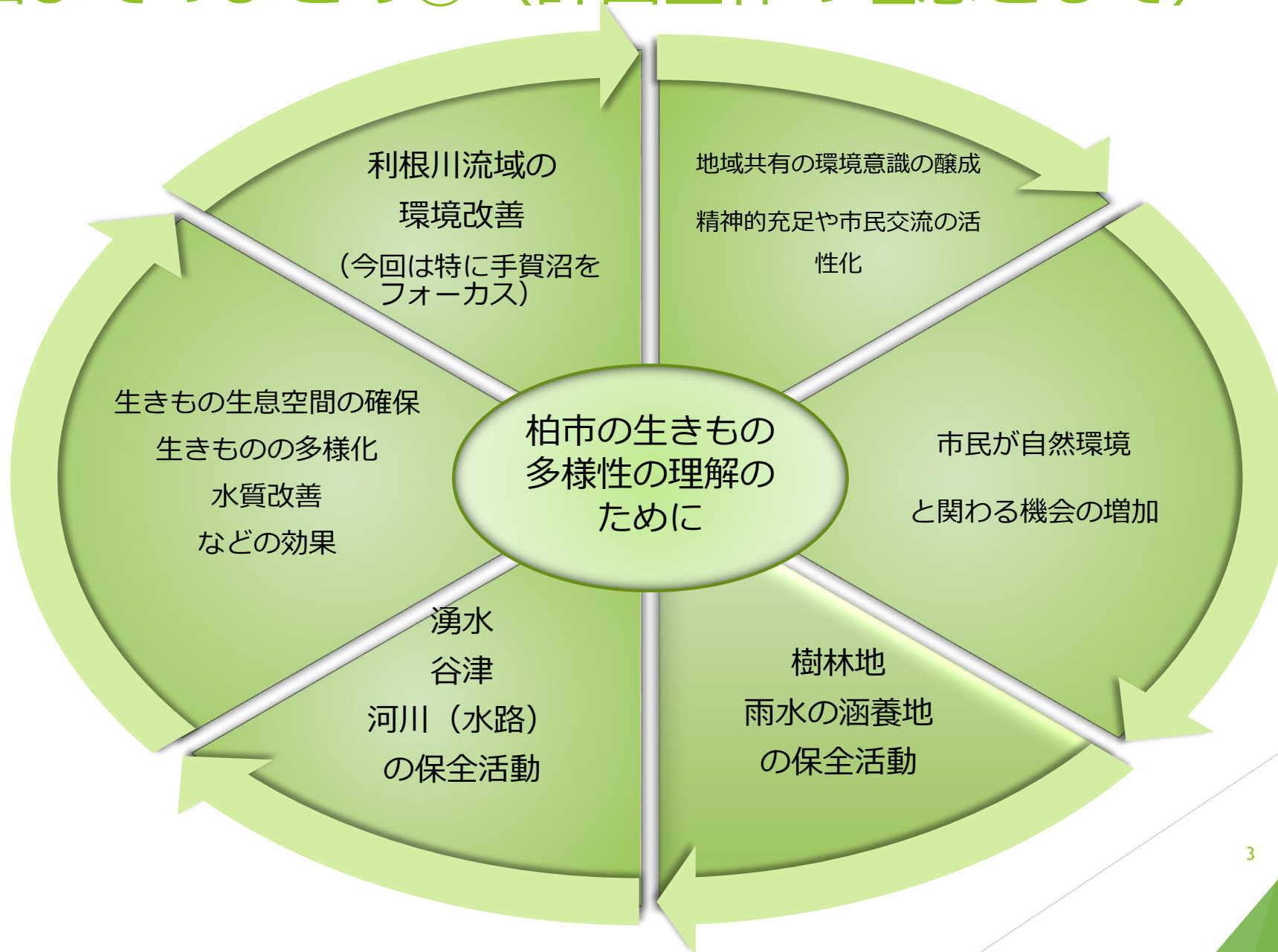
地球上の全ての生きものは、様々な個性を持ち、つながり合い支えあって生きている
生きものの豊かな個性とつながりが、様々な恵みを私たちにもたらしている
生物多様性の保全は私たちの生存に不可欠なものである

令和2年2月18日（火）午前9時30分～
柏市まちづくり公社 2階 手前側会議室

改訂の方向性（素案）




前回までのまとめ①（計画全体の理念として）



前回までのまとめ②（課題整理）

1. 現行計画において、生きもの多様性の保全・再生に重要な地区とした37地点の保全について、運用や人的リソースに課題あり
2. 植生の保全を目的とした手入れがされているかで植生の残存度に差が生じる
3. 重点的な保全活動が、植生の大幅な回復につながった事例もある
4. 高齢化と担い手不足により、既存の生きもの生息空間の保全でも将来性が乏しい状況に
5. 活動団体の解散や活動者の引退によるノウハウの散逸
6. 世代間や柏市に居住し始めた時期での、自然環境への認知度合いに違いあり

 柏市の自然環境に市民を惹きつけていくことが喫緊の課題

生きもの多様性に関わる裾野の拡大とは・・・

自然の入口
に幅広い層
の人に来て
もらう

知ってもらう

興味を持ってもらう

見ってもらう

思ってもらう

もっと関わりたいと

楽しんでもらう

体験してもらう

自発的に自然環境と関
わる機会の増加

保全活動への参加

⇒保全に関するノウハ
ウの継承

⇒別の場所での新たな
保全活動への発展

本日の議題①

テーマ：生きもの多様性に関わる裾野を拡大するために必要なことは？

- ① 柏の自然環境に人を惹きつけるうえでの問題・課題は何か
また、既存の団体活動において、その進捗を阻害する問題・課題は何か

例：どういう場所があるかわからない、どこで活動しているかわからない、世代間の意識のギャップ、既存の団体には入りにくい、場所があっても活用しにくい、募集しても人が集まらない、募集の方法がわからない、何をやったらいいかわからない、来てくれた人をつなぎとめられないetc.

- ② 問題・課題として優先的に解決が必要な事項は何か
- ③ 優先度が高い事項にはどのような対策が必要か
- ④ 対策を実行する際の各主体の役割は

行政ができること、既存の市民団体ができること、事業者ができること
市民ができること、教育機関ができることetc.

本日の議題②

テーマ：増加する外来生物への対応

- ① 外来生物による被害の現状
- ② 外来生物の種類ごとでの駆除の必要性の線引きは
- ③ 生きもの多様性と生活被害や経済的被害との均衡をどのように考えるか
- ④ 行政の役割，市民の役割，事業者の役割とは

柏市内の主な外来生物防除の状況

① 「動物」：アライグマ、カミツキガメ捕獲数

アライグマの捕獲場所は、特定の地域に偏ることなく市内全域で実績あり。

カミツキガメの捕獲場所は、主に大津川下流及び周辺水路となる。

	年度								計
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
アライグマ (外来生物法に基づく捕獲)	1	3	0	5	1	4	3	15	32
アライグマ (鳥獣保護法に基づく捕獲)	0	0	4	14	8	2	19	16	63
アライグマ計	1	3	4	19	9	6	22	31	95
カミツキガメ	0	0	2	3	3	3	2	2	15

柏市内の主な外来生物防除の状況

② 「植物」：手賀沼周辺におけるオオバナミズキンバイ・ナガエツルノゲイトウ

2000年代半ばから手賀沼周辺において、ナガエツルノゲイトウの繁茂拡大が観察されている。また、2017年には手賀沼内にてオオバナミズキンバイの植生が確認されている。現在は、千葉県を中心に駆除の手法等を検討中。また、これまで「美しい手賀沼を愛する市民の連合会」を中心に、調査や駆除等の活動を実施している。



手賀沼内に繁茂するオオバナミズキンバイ・ナガエツルノゲイトウ



市民団体・建設業会等による駆除の様子

柏市内の外来生物の侵入と被害の状況

① 「動物」：主な特定外来生物の侵入状況

種名	状況
セアカゴケグモ	平成27年，令和元年に柏市高南台にて発見報告あり
アカカミアリ	平成30年に市内の物流倉庫にて中国からの輸入物品に紛れて侵入を確認
キョン	市内にて目撃情報や鳴き声の確認情報あり

その他，ウシガエル，カダヤシ，ブルーギル，ブラックバスなどが生息

② 「動物」：その他の動物による鳥獣被害

種名	状況
ハクビシン	市内各地にて農業被害や住居への進入等の生活被害あり
コブハクチョウ	手賀沼周辺に生息。周囲の水田に侵入し，稲作被害をもたらしている
イノシシ	令和元年，台風による増水に伴い侵入し，市内北部の住宅街で足跡を確認 また，市内北部を中心に農地への侵入も確認されている
ムクドリ	柏の葉キャンパス駅や南柏駅の駅前広場等で騒音や糞害等の報告あり

柏市内の外来生物の侵入と被害の状況

③ 「植物」：主な外来生物の侵入状況

種名	状況
オオキンケイギク（特）	市内各地にて生息。特に道路脇や空き地への侵入が顕著
アレチウリ（特）	河川敷や水路の壁面等での繁茂が見られている
オオカワヂシャ（特）	主に大津川とその支流の中流域に繁茂。在来のカワヂシャとの交配による遺伝子汚染が進んでいる
アメリカオニアザミ	市内各地にて生息。特に道路脇や空き地への侵入が顕著。葉や茎に鋭い棘を有しており、接触による怪我につながる恐れあり

※種名欄の（特）は特定外来生物に指定されていることを示す